

## 杉山洋一 / Youichi Sugiyama

1993年桐朋学園大学作曲科卒業。95年イタリア政府給費留学生として渡伊。作曲を三善晃、フランコ・ドナトーニ、サンドロ・ゴルリに、指揮をエミリオ・ボマリコ、岡部守弘に師事し、作曲・指揮ともにヨーロッパと日本で活躍している。作曲家としては、ヴェネチア・ビエンナーレ、ミラノ・ムジカ、ボローニャ・アンジェリカ音楽祭等のほか、東京混声合唱団、多治見少年少女合唱団、ブルーノ・カニーノ / 大井浩明デュオなどから委嘱を受けている。「ディヴェルティメントI」をリコルディより出版。指揮活動としては2000年のアンサンブル・モデルン・オーケストラとのノーノ「プロメテオ」のヨーロッパ・ツアーを皮切りに、クランクフォールム・ウィーンなど各地のオーケストラ、アンサンブルと共演し、ウィーン・モデルン、パリの秋など各地の音楽祭に招かれ、ベルリン・フィルハーモニー・ホール、ウィーン・コンツェルトハウス、トリノ・レジジョ劇場、バルマ・レジジョ劇場、ミラノ・ピッコロ劇場など各地で演奏。現在ミラノ Accademia Internazionale della Musica (旧ミラノ市立音楽院) にて教鞭をとる。

## 中川俊郎 / Toshio Nakagawa

1958年東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安麗子の各氏に師事。Music Today' 82国際作曲コンクール優勝、88年村松賞受賞、グループ「アール・レスピラン」にて中島健蔵賞受賞。CM音楽の分野でも受賞多数。現在、日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会、作曲家団体「深新会」各会員

## 鈴木輝昭 / Teruaki Suzuki

1958年生まれ。桐朋学園大学作曲科を経て同大学研究科修了。三善晃氏に師事。第46回日本音楽コンクール第一位、第51回同コンクール第二位を受賞。84年日本交響楽協賛財団第7回作曲賞、85年、87年旧西ドイツ、ハンバツハ賞国際作曲コンクール管弦楽・室内楽両部門にて第一位受賞。91年村松賞受賞、94年「アール・レスピラン」同人として第12回中島健蔵音楽賞受賞。01年宮城県芸術選奨受賞。現在、桐朋学園大学非常勤講師。

## 権代敦彦 / Atsuhiko Gondai

1965年東京生まれ。桐朋学園大学作曲科卒業、同大学研究科修了。DAAD(ドイツ学術交流会 西ドイツ政府)奨学生として、フライブルク音楽大学現代音楽研究所に留学。文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリ・IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)でコンピュータ音楽を研究、実践。94年よりイタリアのチッタ・ディ・カステロ市の芸術奨学金を得て同地にて研修。作曲を、末吉保雄、クラウス・フーバー、フィリップ・マヌリー、サルヴァトーレ・ジャリーノに師事。1997年日本音楽コンクール作曲部門第一位、1991年ヴァレンティノ・ブッキ国際作曲コンクール第一位、1993年アメリカ・バーロウ基金作曲賞、1999年中島健蔵音楽賞など、入賞・入選・受賞多数。

## 野平一郎 / Ichirou Nodaira

1953年生まれ。東京芸術大学、同大学院修士課程を修了後フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとしては、内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、名手と数多く共演し、室内楽奏者としても活躍。古典から現代までの幅広いレパートリーを得意としている。作曲家として、フランス文化庁をはじめ、スペイン文化庁、IRCAM、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、ベルリンドイツ交響楽団、国立劇場他から数多くの委嘱作品がある。2005年には、オペラ作品「マドルガーダ」(シュレスヴィツヒ・ホルシュタイン音楽祭でケント・ナガノ指揮により初演)、2006年には、歌曲集「悲歌集」(津田ホール委嘱)、チェロのための「証」(ハンブルク・ムジークハレ委嘱)、日本フィルシリーズ第40作「トリブティーク」、チェロと管弦楽のための「響きの連鎖」(サントリー音楽財団委嘱)、アンサンブル・ウィーン・コラージュのための新作などが世界初演され、いずれも絶賛を得ず。2007年には、バッハ「平均律クラヴィア曲集」のピアノ、チェンバロ、オルガンを使う全曲録音を行った。3月にロサンゼルスでの「Monday Evening Concerts シリーズ」に指揮者、ピアニストとして登場。また、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院のレジデンス・コンポーザーとして招かれた。第13回中島健蔵音楽賞(1995)、第44回尾高賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞(1996)、第35回サントリー音楽賞(2004)、第55回芸術選奨文部大臣賞(2005)を受賞。2005年より静岡音楽館 AOI 芸術監督。2008年度桐朋学園大学音楽学部(作曲専攻)特任教授

## ステファノ・ジェルヴァゾーニ / Stefano Gervasoni

1962年ベルガモ生まれ。ミラノの音楽院でL. ロンバルディ、N. カスティリオーニなどに師事。続いてG. リグティの下で、又 IRCAM にて研鑽を積む。L. ノーノ、B. ファーニホウなどとの出会いにより、作曲家としての方向性やスタイルに重要な影響を受けた。作曲活動は幅広く、声楽の特性にも強い関心を寄せている。現在パリ国立高等音楽院・作曲科教授

## マクロコスモス / Makrokosmos

マクロコスモスはウフク・デルデュンジュとバハール・デルジュンジュ姉妹のピアノ、フランソワ・ヴォルベとセバスティアン・コルディエの打楽器による四重奏団。ハインツ・ホリガー、フライアン・ファーニホウ、ステファノ・ジェルヴァゾーニらを初めとする委嘱活動など、さまざまな作曲家らと活発なコラボレーションを展開。hathut レコード(www.hathut.com)より、ジェルヴァゾーニ、H. ハース、クラムの作品によるCDが発売。

- ウフク・バハール・デルデュンジュ姉妹

現代音楽、クラシックに関わらず、以前よりすぐれたピアノ・デュオとして知られ、ジュネーブなどスイス各地を初めとして、ヨーロッパ各地での精力的な演奏活動のほか、母国トルコの文化大使的な役割もはたしている。

- フランソワ・ヴォルベ

スイス・ロマンド管およびジュネーブ室内管のティンパニ奏者で、ジュネーブの現代音楽アンサンブル・コントロールジャンの打楽器奏者、プーレース、ホリガー、ベンジャミンらと共演し、ファーニホウ、ジャレル、ジェルヴァゾーニら作曲家とのコラボレーションを活発におこなう。

- セバスティアン・コルディエ

ジュネーブ、そしてパリで学び、パリ放送管、ルクセンブルグ・フィルハーモニー、ジュネーブ大劇場管などで活躍し、ホリガー、ハンベル、ロフェ、プーレース、フォスター、タマヨ、クリヴィンらと共演している。

## フィリップ・アルベラ / Philippe Albera

特に近現代音楽の権威として知られる。音楽学者・評論家。長年にわたり、ジュネーブのアンサンブル、コントロールジャンの芸術監督をつとめた。プーレース、アミなどの研究のほか、ハインツ・ホリガー、現代音楽論などを執筆。当初よりジェルヴァゾーニの音楽の紹介につとめ、現在でもジェルヴァゾーニがもっとも信頼するよき理解者である。

TOHO

TOHO《S/UP-PROJECT II》

A PROJECT TO SUPPORT AND TO SUPPLEMENT TRADITIONS.

伝統を支え・補う

平成20年度 桐朋学園大学音楽学部・作曲専攻教育支援プログラム

TOHO《S/UP-PROJECT II》

A PROJECT TO SUPPORT AND TO SUPPLEMENT TRADITIONS.



# TOHO《S/UP-PROJECT II》

A PROJECT TO SUPPORT AND TO SUPPLEMENT TRADITIONS.

## 伝統を支え・補う

### 平成20年度 桐朋学園大学音楽学部・作曲専攻教育支援プログラム

桐朋学園大学音楽学部・作曲専攻は2008年度、以下の教育支援プログラムを実施いたします。これを学内に限らず広く今日の創作と演奏に関心のある方々に公開し、参加を募ります。

今年度は《現代音楽の旗手たち I》として桐朋で学んだ4人の作曲家による公開レッスンおよび作品ワークショップ、本学特任教授・野平一郎先生による《現代音楽ワークショップ》、ヨーロッパの第一線で活躍中の作曲家ステファノ・ジェルヴァゾーニ氏とアンサンブル・マクロコスモスおよび音楽学者のフィリップ・アルベラ氏(予定)を迎えてのワークショップおよびコンサート他を実施いたします。

## ■支援プログラム・Theme A

### 《伝える!・・・現代》— 現代音楽の旗手たち I—

「ヒト」から「ヒト」への多様な音楽的メッセージ世界を独自の創作世界を持つ作曲家および演奏家とのコラボレーションによって構成し知見する講座。

会場：全日とも桐朋学園大学新館 402 および 326 教室(予定)

入場料：一般聴講料 1,000 円(1 日)、通し券(4 日間)3,500 円。尚、聴講は会場施設の関係上、電話による受付 Tel 03-3307-4113(教務課直通)にて、先着 50 名様迄とし、前日まで受付いたします。なお、聴講料は当日、会場前の受付で納入して下さい。

#### 【日程】

##### ●第1夜 杉山洋一

6/4(水)14:00-17:00 作曲専攻生・公開レッスン

6/4(水)18:00-20:30 杉山洋一作品によるコンサートおよびワークショップ

プログラム

杉山洋一：「バルカラルオーラ」ヴィオラ・ソロのための(2000)

杉山洋一：「ディヴェルティメント II」2台ピアノのための(2001)

杉山洋一：「アリア」ヴァイオリン・ソロのための(2002)

杉山洋一：「Tree-nation」打楽器ソロのための(2008) 他

出演：Ensemble I-contemporary,perc. 安江佐和子

##### ●第2夜 中川俊郎

7/2(水)14:00-17:00 作曲専攻生・公開レッスン

7/2(水)18:00-20:30 中川俊郎作品によるコンサートおよびワークショップ

プログラム

中川俊郎：ピアノのためのトランスフィギュレーション(キリストの変容)(1982)

中川俊郎：2人、又は3人の雑音発生者(ノイズメーカー)のための音楽(1989) 他

出演：中川俊郎、新垣 隆、Bar. 松平 敬

##### ●第3夜 鈴木輝昭

10/30(木)14:00-17:00 作曲専攻生・公開レッスン

10/30(木)18:00-20:30 鈴木輝昭作品によるコンサートとワークショップ

プログラム

鈴木輝昭：「詩華抄」無伴奏混声合唱のための(1995)

鈴木輝昭：「ソーン・ストラクチャー第二巻」五人の奏者のための(2007)

鈴木輝昭：「情懐戯画」混声合唱と独奏打楽器のための(2004)

出演：合唱 Ensemble PVD,cond. 藤井宏樹,perc. 安江佐和子 他

##### ●第4夜 権代敦彦

11/12(水)14:00-17:00 作曲専攻生・公開レッスン

11/12(水)18:00-20:30 権代敦彦作品によるコンサートとワークショップ

プログラム未定：曲目は決定次第、本学ホームページ上でお知らせいたします。

(<http://www.tohomusic.ac.jp/collegeSite/collegeIndex.html>)

## ■支援プログラム・Theme B

### 《野平一郎特任教授による現代音楽ワークショップ》

「音楽理論 Ds 特別講義」

実施期間：2008年9月5日(金)～7日(日)の3日間

会場は全日とも桐朋学園大学新館 333 および 326 教室

[第一部]のみ一般聴講可

入場料 [第一部]：一般聴講料 2,000 円(1 日)、9 月 7 日のみ 3,000 円、通し券(5-7 日の 3 日間)

6,000 円。尚、聴講は会場施設の関係上、電話による受付 Tel 03-3307-4113(教務課直通)にて、先着 50 名様迄とし、前日まで受付いたします。なお、聴講料は当日、会場前の受付で納入して下さい。

[第一部] (一般聴講可)

### 《野平特任教授による現代ピアノ作品分析およびレクチャーコンサート》

【日程】

●作品分析——(I)9月5日(金)14:00 (II)9月6日(土)14:00

●レクチャーコンサート——9月7日(日)15:00

プログラム(作品分析対象作品)

シェーンベルク：作品 11,19,23 / プーレーズ：ピアノ・ソナタ第3番 / ミュライユ、野平一郎作品 他

レクチャー&ピアノ：野平一郎

【第2部】(一般聴講不可)

### 《創作実習およびグループレッスン&コンサート》

【日程】

●12月7日(日)15:00 333 教室

内容：[第一部]の経験に基づき、学生が作曲したピアノの小品、  
ないし断片によるワークショップ(グループレッスン形式)およびコンサート。

## ■支援プログラム・Theme C

### 《作曲家ステファノ・ジェルヴァゾーニの世界》

スイスの現代音楽グループ、マクロコスモスとフランスの音楽学者フィリップ・アルベラ氏(予定)を迎え、現在、ヨーロッパを代表する作曲家・パリ国立高等音楽院教授のステファノ・ジェルヴァゾーニ氏の音楽世界と作曲公開レッスンを実施します。

【日程】2008年8月30日(土)から9月3日(木)

会場：全日とも桐朋学園大学新館 333 教室

一般聴講料 2,000 円(1 日)、8 月 30 日のみ 3,000 円、通し券(5 日間)6,000 円。尚、聴講は会場

施設の関係上、電話による受付 Tel 03-3307-4113(教務課直通)にて、先着 50 名様迄とし、前日まで受付いたします。なお、聴講料は当日、会場前の受付で納入して下さい。

### 【第1部】マクロコスモス&フィリップ・アルベラ ワークショップ

8月30日(土)17:00~19:30 402 教室

Stefano Gervasoni : Sviete Tihl—Capriccio Dopo La Fantasia —(2005-06)

For two pianos and two percussionists

出演：マクロコスモス、フィリップ・アルベラ、ステファノ・ジェルヴァゾーニ

### 【第2部】作曲公開レッスン&公開リハーサル

作曲レッスンに先立ち、14:00 から学生作品の試演が行われる場合があります。

詳しくは本学ホームページ(<http://www.tohomusic.ac.jp/collegeSite/collegeIndex.html>)をご覧ください。

##### ●ジェルヴァゾーニ作曲公開レッスン

[I] 8月31日(日)15:00-18:00 326 教室

[II] 9月 1日(月)14:00-17:00 326 教室

##### ●公開リハーサル

[I] 9月 1日(月)18:00-20:00 333 教室

[II] 9月 2日(火)18:00-20:00 333 教室

プログラム

Stefano Gervasoni : Least bee(1991-92) for voice and chamber ensemble

Texts by Emily Dickinson.

出演：Ensemble I-contemporary ,sop. 吉川真澄,cond. 杉山洋一

### 【第3部】ジェルヴァゾーニ・ポートレートコンサート

9月3日(水)18:00~20:00 333 教室

プログラム(予定)

Stefano Gervasoni : Due Voci(1991) for flute and violin

Stefano Gervasoni : Strada non presa(2001) for string quartet

Stefano Gervasoni : Studio di disabitudine(1998-99) for piano

Stefano Gervasoni : Least bee(1991-92) for voice and chamber ensemble

出演：Ensemble I-contemporary,sop. 吉川真澄,cond. 杉山洋一 他

## ■支援プログラム・Theme D

### ●作品コンクール(一般公募)

2008年11月22日(土)に津田ホールで行われる第30回記念「作品展」への出品を前提とした作品の募集(1乃至2曲)。作品は下記編成のいずれかにより、2008年10月1日(水)(必着)までに大学事務局(〒182-8510 東京都調布市若葉町 1-41-1 桐朋学園大学教務課)宛提出の事(作品は返却しない)。

応募資格：桐朋学園大学作曲専攻卒業生、科目等履修生(カレッジ・ディプロマ修了生、研究科修了生)参加費等はなし。

○編成：以下の楽器を除く任意の楽器によるソロ作品

(邦楽器、打楽器、ギター、オルガン、アコーディオン、トラベルソ、チェンバロなどを含むバロック楽器、音響制作、ライブエレクトロニクス)

### ●作品審査

提出作品は桐朋学園作曲部会員および中川俊郎、鈴木輝昭、権代敦彦、原田敬子の各氏によって選考され、選考結果は10月中旬頃、本学ホームページ上で発表する。

(<http://www.tohomusic.ac.jp/collegeSite/collegeIndex.html>)

## ■特別演奏会

### TOHO《30<sup>th</sup>.Anniversary concert》

#### 桐朋「作品展」第30回記念特別演奏会

2008年11月22日(土)津田ホール(午後4時開演予定)

入場料 一般¥2,500 学生¥1,500

出品作曲家：

石島正博、金子仁美、権代敦彦、佐藤公一郎、鈴木輝昭、中川俊郎、法倉雅紀、原田敬子および公募作品

### ■プロジェクト参加音楽家



### ◎平成20年度・その他の作曲専攻関連行事日程

6月25日(水)第30回作品展、調布くすのきホール 6:30P.M.

### ◎問い合わせ先

桐朋学園大学教務課(6)番窓口 Tel 03-3307-4113(教務課直通)

内容についてのお問い合わせ：石島正博(企画・制作、作曲専攻主任)

E-mail: [tree@savanna.dti.ne.jp](mailto:tree@savanna.dti.ne.jp)

